

教科(科目)	英語(英語コミュニケーションI)	単位数	3単位	学年(コース)	1学年(全クラス)
使用教科書	開隆堂 Amity English Communication I				
副教材等	開隆堂 Amity English Communication I WORKBOOK, 啓林館 Willing New 基本の英語, 桐原書店 Hyper Listening Introductory, 大修館書店 ベーシックジーニアス英和辞典				

1 学習目標

<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--

2 指導の重点

<p>① 基本的な文法事項を理解し、実際に活用することを目指します。</p> <p>② まとまった英文を読み、多様な社会の仕組みや文化等を学び、理解することを目指します。</p> <p>③ さらにそれらを的確に表現し、自分の意見や考えを伝え合ったりすることを目指します。</p>

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観 点	評価方法
4	GET READY 1~4 Lesson 1	12	The Beautiful Scenery	中学校の復習(数字、文字、品詞) ・be 動詞、一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を捉える。 ・be 動詞、一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝える。	a b c	ワークシート (記述の点検)
5	be 動詞、be 動詞 の否定文と疑問 文	3	Willing New 1,2	be 動詞の現在形の使い方とその 否定文、疑問文の作り方を学ぶ。	a c	ワークシート (記述の点検)
	1ケタの数	1	Hyper Listening 1	数字を的確に聞き取る。	b	ワークシート (記述の点検)
	定期テスト	1			a,b	
6	Lesson 2	12	My Best Friend	・be 動詞、一般動詞の過去形を理解し、概要や要点を捉える。 ・be 動詞、一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝える。	a b c	ワークシート (記述の点検)
	つながる音 位置を表す表現	2	Hyper Listening 2,3	can と can't を聞き取ったり、つ ながる音に慣れる。 位置を表す表現を学ぶ。	b	ワークシート (記述の点検)
	定期テスト	1			a,b	
7	一般動詞の現在 形、現在形の否定 文と疑問文	3	Willing New 3,4	一般動詞の現在形の使い方とそ の否定文と疑問文の作り方を学 ぶ。	a	ワークシート (記述の点検)
	Lesson 3	4	Love for Dance	・進行形や助動詞を理解し、概要 や要点を捉える。	a b	ワークシート (記述の点検)
8	Lesson 3	2		・進行形や助動詞を用いて、提示 された写真について、考えや気持 ちを話して伝える。	a b	ワークシート (記述の点検)
9	Lesson 4	12	Endanger- ed Species	・不定詞を理解し、概要や要点を 捉える。 ・不定詞を用いて、好きな動物に ついて、考えや気持ちを話して伝 える。	a b c	ワークシート (記述の点検)
10	be 動詞の過去形 一般動詞の過去 形の否定文と疑 問文	3	Willing New 6,7	過去形の形に注意して否定文と 疑問文の作り方を学ぶ。	a	ワークシート (記述の点検)
	定期テスト	1			a,b	
11	Lesson 5	12	The History of Chocolate	・動名詞を理解し、概要や要点を 捉える。 ・動名詞を用いて、健康に関する ことや空いた時間について、考え や気持ちを話して伝える。	a b	ワークシート (記述の点検)
12	定期テスト	1			a,b	
	つながる音 消える音	2	Hyper Listening 4,5,6	つながる音、消える音に注意して 聞き取る。	b	ワークシート (記述の点検)

	進行形の文 疑問文	1		進行形の文の時制に注意して聞き取る。 何をたずねているのかを答えに注意しながら聞き取る。	b	ワークシート (記述の点検)
	動名詞	2	Willing New 21	動名詞の作り方に注意して、文中でどんな役割を果たすのか理解する。	a	ワークシート (記述の点検)
1	Lesson 6	12	Our School	・比較を理解し、概要や要点を捉える。 ・比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝える。	a	ワークシート (記述の点検)
2	表現の言い換え 人物の描写	2	Hyper Listening 7,8	内容をよく理解し、どんな言い換えをしているかに注意して聞き取る。 人物の特徴についてしっかり聞き取る。	b	ワークシート (記述の点検)
	Lesson 7	12	Serendipity	・現在完了を理解し、概要や要点を捉える。 ・現在完了を用いて、セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝える。	a c	ワークシート (記述の点検)
	定期テスト	1			a,b	
3	動詞の不規則変化表	3		現在完了を身に付けるうえで大切な過去分詞形について確認する。	a	ワークシート (記述の点検)

計 105 時間 (50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこと」 時間	B 「書くこと」 時間	C 「読むこと」 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

- ・ 授業中のプリント
- ・ 単元ごとの小テスト実施や、振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

7 担当者からの一言

英語が苦手でも嫌いな気持ちがあっても、指示に従い課題をこなしましょう。今まで苦手意識があっても気持ちと態度を改めると成績は飛躍的に伸びます。音読や発表等、声を出したり、人前で発言をしたりすることが求められます。積極的に元気よく授業に取り組みましょう。

提出物は決められた期限を守り、必ず提出してください。

(担当:)